

「また来てくれて、ありがとう」

▼7月11日、名取が丘児童館で

支援チーム奮闘

第3次チームの公演は7月8日の女川町清水仮設でスタート。チンドン屋風の呼び込みをやって40人を集めました。昨秋も訪れているので「また会えたね」と、再会を喜んでくれる被災者もいました。草津節のメロディーに乗ってオープニング体操。南京玉すだれ、昔遊び（お手玉・あやとり・折り紙コマ）と続き、オカリナの伴奏で「花火」「上を向いて歩こう」「七夕さま」を一緒に歌いました。

コミカルな1人芝居「白波五人男」で会場をわかせたあと、銭太鼓チームが登場。持参した太鼓で皆さんにソーラン節を体験してもらいました。花が飛び出すマジックで驚かせ、最後は民謡タイム。デカンショ節・斉太郎節と続き、全員で炭坑節を歌って踊って大いに盛り上がりました。庭では〈わ〉の2人も参加してペタンクの親善試合をしました。午後は石巻バイパス東と西の仮設住宅です。銭太鼓の体験と民謡や「北国の春」をいっしょに歌って大いに沸きました。



たち78人の相手はちょっと大変でした。11日は雨模様。7時過ぎには宿舍を出発し、増田保育所へ（60人）。子供たち全員で歌ってくれた〈園歌〉がすばらしい。

昼休みを利用して、大津波ですべての住宅が消えてしまった〈ゆりあげ地区〉を見学しました。昨秋はなかった雑草が生い茂っており、この日初めて訪れたメンバーは言葉もないようでした。

ドレミちゃんとの共演

11日午後（ゆりが丘児童センター・65人）と12日（東六郷小・40人、六郷児童館・50人）は協会チームとの合同公演です。体操のお姉さんとピエロ風の衣装でドレミちゃん登場。風船アートが始まると、子供たちは大歓声です。ヅカ出身の花城アリアさんは透き通るような声で「ドレミの歌」「アイアイアイ」などを披露。会場を魅了しました。昔遊びでは〈わ〉のチームと一緒に子供たちと遊びました。

13日は早朝、石巻市の亀山紘市長を表敬訪問。復興の現状などを聞きました。豊齢学園では大歓迎を受けましたが、ゆっくり懇談する時間がなく「連携して被災地復興活動をやろう」と大筋での合意にとどまりました。今後、双方で具体策を検討します。

【3次チーム】西田圭一（団長・生9）芦田義和（リーダー・生15）海野龍英（幹事・食16）内田たみ子（福10）増金スミ子（福11）水嶋和信（生12・写真）波多野武郎（食16）古後健一（健18）三浦捷治（国10）三浦良子（国9）阿部和子（福11）林弥生（国13）山田保子（音13）大橋洋子（音16）筒井ちなみ（音17）安田夫市（健17）大和川明美（18）▽留守部隊＝大澤貞男（生13）南形徹（生14）▽特別参加＝浦崎佳世子（竹の台小）【復興協会チーム】花城アリア（歌手）ドレミちゃん（香川彩子）梅田ちえみ（体操）田中浩子、福田孝夫・佃孝司（協会）



9日は女川第二小へ。第一、第四小との合同ですが会場には40人。嵐の曲に乗って、新聞をちぎってあばれる“新聞ダンス”に子供たちは大喜び。南京玉すだれに眼をみはり、昔遊びではチーム全員が子供たちの輪に入って遊びます。人気はブンブンゴマ。「回った、回った」と大はしゃぎ。銭太鼓には10人がチャレンジ。華やかなマジックのあとは、ボール・あめ玉・色紙などをプレゼントしてお開きです。

午後は東浜小（28人）。ここの児童とは昨秋と冬（ルミナリエ招待）の2回会っており、「また来てくれたの？」と嬉しそうです。45分しか持ち時間がなく、スタッフは大慌てでプログラムを進めました。

10日午前は名取が丘保育所（60人）。紙芝居「おおきなかぶ」に拍手・拍手。「カエルの合唱」や「七夕さま」など子供たちは歌が大好きです。午後は名取が丘児童センター。1時間しかなく、子供